

ヘボンの和訳聖書

2019年度アジア神学セミナー
5月24日(金) 18:25~20:25
明治学院大学 白金校舎本館
1457教室 岡部一興

ヘボンの生い立ち

スコッチ・アイリッシュの家に生まれて



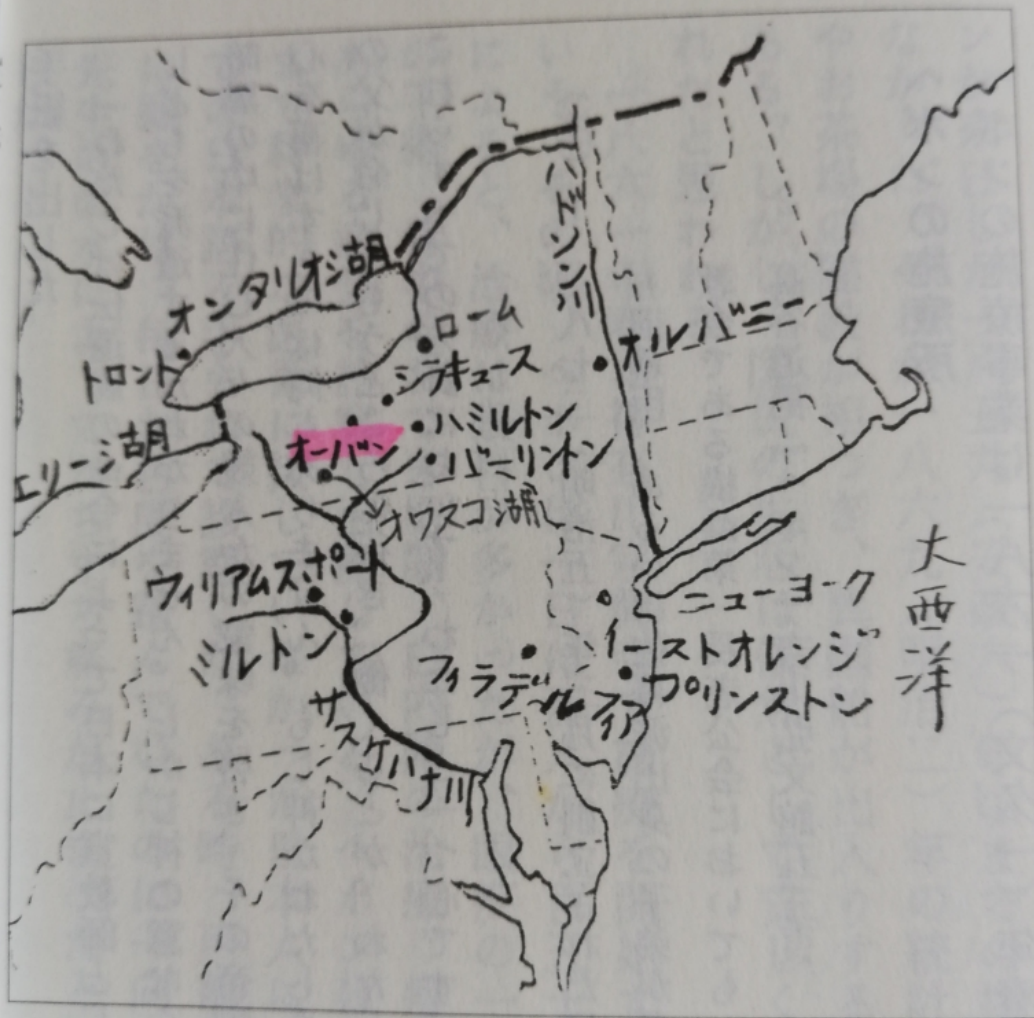
ボスエル城

13世紀に建てられた。初代城主パトリック・ヘップバーン。グラスゴーセントラルから列車で20分、ウディグトンという田舎町にある。

岡部一興撮影



ヘボン 18世紀中頃、ヘボン家北アイルランドに移住。1774年曾祖父サムエル・ヘップバーン息子をペンシルベニア州サスケハンナ川溪谷まで行かせ、自らも移住してウィリアムSPORTやミルトンを開拓



ニューヨーク州付近の地図

ヘボン 1815年3月13日
ミルトンに生まれる。2男6
女の長男で2番目

Clara M. Leete



ノース・カロライナ州出身、祖先はコネティカット州の知事を務める。クララの心を悩ましたのは、一人息子をアメリカに残してきたことだった。1870年9月21日。ミス・キダーに生徒を預ける。これがフェリス・セミナリーの始まり。

野田秀三所蔵

クララとヘボン

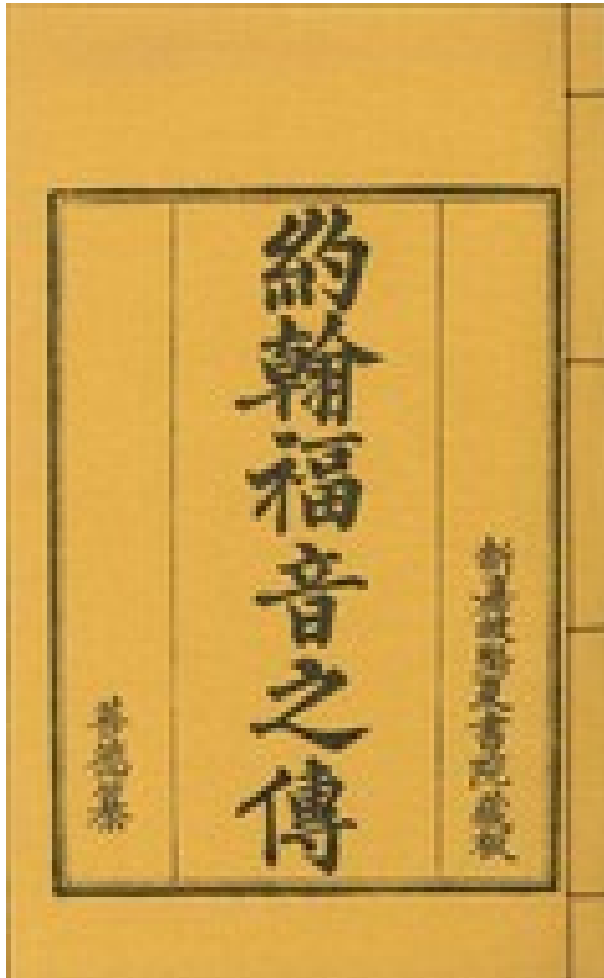
James Curtis Hepburn
ニューヨーク時代のヘボン



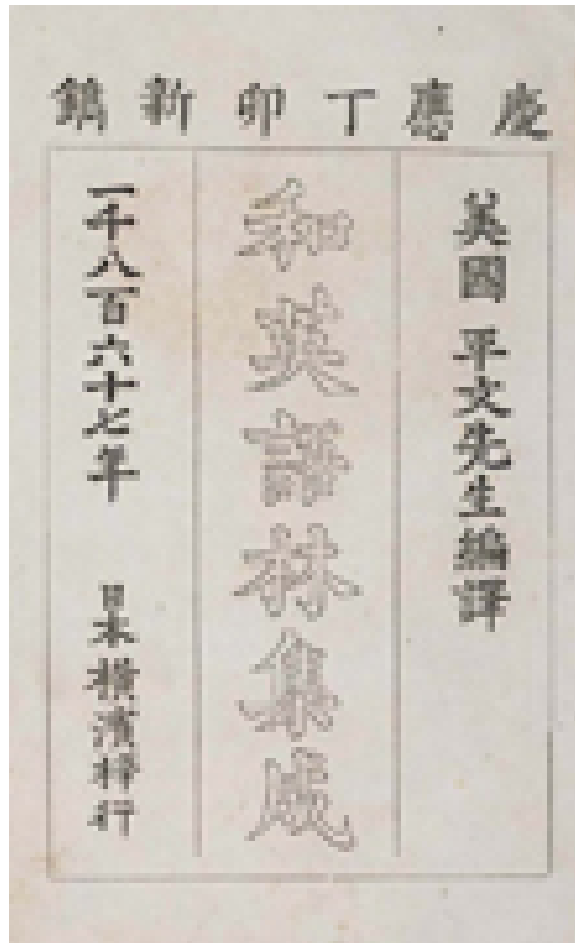
聖書和訳の流れ

- ギュツラフ1837年→ S.W.ウィリアムズ訳 → ベッテルハイム → ゴーブル
『約翰福音之傳』『約翰上中下』、『馬太福音書』、 4福音書、 『摩太福音書』
1940年頃 1852年 1871年
- しんやくぜんしよ
『志無也久世無志與』 ネーザン・ブラウン個人訳 1879年8月翻訳完成
- 新約聖書 →1879年11月翻訳完成 ヘボン、S・R・ブラウン、D・C・グリーン
翻訳委員会訳 27巻随時出版 木版刷り17分冊 共同訳、委員長S・R・ブラウン
- 旧約聖書 39巻随時出版 木版28冊
1888(明治21)年2月3日
- 明治元訳 (祝賀会)『新約全書』と『旧約全書』1888年 活版印刷が完成
翻訳委員会訳 共同訳、委員長ヘボン
→『改訳 新約聖書』 大正訳1917(大正6)年、旧約聖書は改訳されず。
- 『新約聖書』→ 『旧約聖書』 →『新約聖書共同訳』 →『聖書新共同訳』
口語訳1954年 口語訳 1955年 1978年 1987年
カトリックとプロテスタントの共同訳
- →『聖書 聖書協会共同訳』2018年12月

ギュツラフの約翰福音之傳1837年



『和英語林集成』初版



- 1867年
- 1200部
- 上海で作成
- 出版地：横浜

何のために『和英語林集成』を編纂したか

- 第一にあとから来る宣教師や外国人のために、英語を学ぶ日本人のために、便利な辞書の編纂を思いつく。第二「聖書の日本語訳を手掛ける基礎的作業としての辞書」の編纂が不可欠。
- 日本人にとってはこの辞書は、日本人の英語力の向上と外国文化に触れる礎となった。また外国人には日本語と日本文化の理解に役立ったという意味において、近代日本における文化面と学術面における貢献は大いなるものがあった。

S・R・ブラウン



- 1810.6.16～1880.6.20
- コネティカット州
イースト・ウィンザーに
生まれる。

父テモシー・ブラウン

母フィベ・ヘンデスデイル・
ブラウン

母は子を外国伝道にささ
げると神に誓った。

ダニエル・クロスビー・グリーン (Daniel Crosby Greene)



- 1843年2月11日ー
- 1913年9月15日
- 1866年シカゴ神学校、
アンドーバー
- 1869年 アメリカン・
ボード最初の宣教師

新約聖書（明治元訳・17分冊）



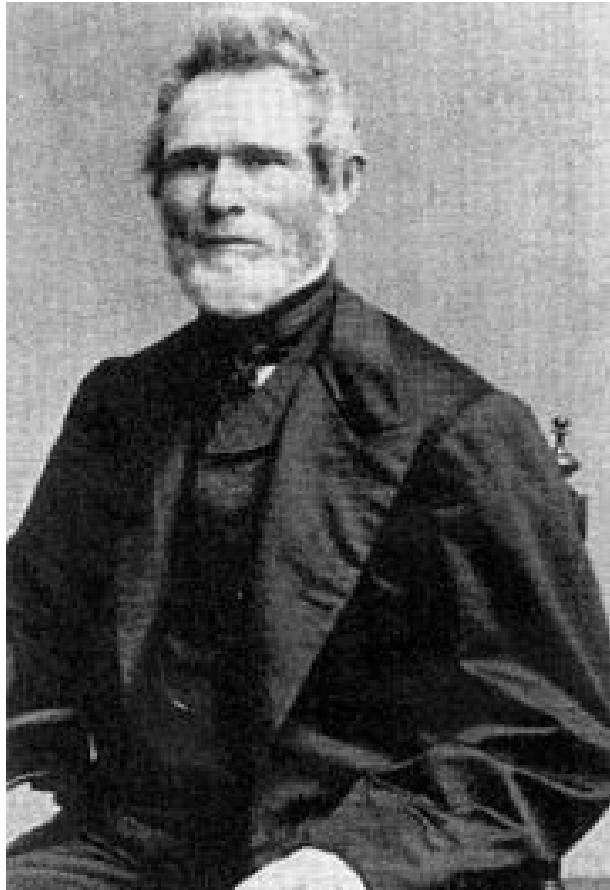
新約聖書・分冊で発行



新約聖書 明治元訳



ネーザン・ブラウン1807.6.22～86.1.1
(横浜バプテスト教会)



バプテスト教会宣教師

1873年2月7日来日

『志無也久世無志與』

個人訳

1879年8月翻訳完成

明治元訳旧約聖書初版

明治学院大学図書館デジタルアーカイブより



明治元訳完成祝賀会で へボンが示した聖書



明治学院大学図書館
デジタルアーカイブより

ブリッジマン／カルバーントン

約翰傳福音書の 漢訳聖書訓点書

約翰傳福音書

第一章 元始有道道偕神道則神是道元始偕神也萬物爲道所造凡受造者無不由之而造焉在道有生生也者乃人之光光照於暗而暗弗諳之○有神所遣之人名約翰彼來作證卽爲光作證俾衆可因之而信彼非此光惟爲光作證耳斯乃臨世之眞光照萬人者也彼嘗在世世爲其所造而世不識之彼至屬己者而屬己者不受之凡受之者卽凡信其名者彼賜之權爲神之子此衆非由血氣非由情慾非由人意而生乃由神也夫道成肉身居我儕之間我儕見其榮猶天父獨生之子之榮以恩寵以眞理充滿矣○約翰爲之作證呼曰我言後我來而先我在以其本先於我者卽斯人也且由其充滿而我儕皆受恩寵加恩寵焉蓋律法授自摩西恩寵與眞理則由耶穌基督從未有入見神惟獨生之子在父懷

J・C・ヘボン、S・R・ブラウン、奥野昌綱著

新約聖書 約翰傳 一八七二年初版

元始(はじめ)に言靈(ことだま)あり、言靈

1 は神とともにあり、言靈は神なり。

2 この言靈は、はじめに神とともにあり。

3 よろづのものこれにてなれり、なり

4 3しものはこれにあらず、ひとつとして
なりしものはなし。

5 4これに生(い)のちありし、いのちは人の
ひかりなりし。

6 光は暗(くらき)にてりて、暗は之をさとり
ざりし

7 さて神のつかはれしヨハネといふものあり。

8 かれは證(あかし)のためひかりにつきてあ

9 7かしたてみなかれによりて信ずるために
きたれり。

約翰傳 明治元訳一八七七年

新約聖書 約翰書全 第一章一節〜七節

翻訳委員社中

1 夫(それ)われらが聞(きく) また目(め)に見(み) ねんごろに
觀(み) わが手(て) さはりしところのもの。すなはち元始(は
じめ)よりありし いのちの道(とば)を なんぢらにつたふ

2 この生命(いのち)すでにあらはれたれば われらこれをみ
て證(あかし)をす。すなはち原(もと)ちよともにもありしもの
にて われらにあらはれたる かぎりなきところの此(この)い
のちを なんぢらに傳(つた)ふ

3 われら見(し)ところ聞(し)ところを なんぢらにつふるは なん
ぢらをわれと同心(とも)ならしめんためなり。われらは父お
よびその子(い)えすキリストとともたり

4 われらこの書(みち)をかきおくりて なんぢらの喜
樂(よろこび)をみたしめんとす

5 神は光なり すこしのくらきところなし 此(こ)はわれらか
れよりきて またなんぢらにつたふる告(つげ)なり

6 もしわれら 神とともなりといひて暗(くら)ききあるかば
われらがいふところは いつはりにして 真理(まこと)をおこな
ふにあらず

7 もし神のひかりにあるごとく 光のうちをあるかば われら
たがひに同心(とも)となるを得 かつその子(い)えすキリストの
血(す)べてつみよりわれらを潔(きよ)む

改訳 新約聖書』大正訳

一九一七(大正六)年ヨハネ傳

『第一章一節〜七節

- 1 太初(はじめ)に言(ことば)あり、言は神と偕(ともに)にあり、言は神なりき。
- 2 この言は太初に神とともに在り、
- 3 萬(よろづ)の物これに由(より)て成(なり)たる物に一つとして之によりて成りたるはなし。
- 4 之に生命(いのち)あり、この生命は人の光なりき。
- 5 光は暗黒(くらき)に照(て)る、而(しか)して暗黒は之を悟(さと)らざりき。
- 6 神より遣(つか)は(され)たる人いでたり。その名をヨハネといふ。
- 7 この人は證(あかし)のために来(きた)れり、光りに就(つ)きて證をなし、また凡(すべて)の人の彼(かれ)によりて信(しん)ぜん為(ため)なり。